

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう

なまえ _____

小3/5まいめ えらぶ 向きが 入れかわる しあげの 1まい

ひづけ _____

1と3は、つなぎ言葉のあとにつづく文を ア～ウから えらんで 記号を 書きましょう。
2と4は、はнтаいに 文を 読んで、□に入る つなぎ言葉を はこから えらびます。
2と4の (1) ～ (3) は、どれも 同じ 1文目につづく べつべつの 話です。

ことばのはこ

だから

でも

そして

1 まどの 外は まだ とても 明るい です。

ア まどの そばに 新しい 本だ なを おき ました。

イ 時計は もう 七時 を さして いました。

ウ まだ 電気 を つけ ない で 本を 読み ました。

(1) だから、

(2) でも、

(ことばのはこから えらぶ)

2 はるとさんは 毎朝 犬の さんぽに 行きました。

(1) 、犬は とても 元気 になりました。

(2) 、雨の 日だけ は 行け ませんでした。

(3) 、帰って から 花に 水も やり ました。

3 みさきさんは ノート を ちゃんと 持って きたと 思いました。

ア 安心して 一時間 目の じゅんぴ を しま した。

イ かばんの 中を 見ると ノート が あり ませんでした。

ウ 前の 日の 夜に ノート を かばんに 入れて いました。

(1) でも、

(2) だから、

(ことばのはこから えらぶ)

4 あきらはんは 朝ごはんを しっかり 食べ ました。

(1) 、二時間 目 に おなか が 鳴り ました。

(2) 、水とう に お茶も 入れて き ました。

(3) 、お昼 まで おなか が すき ませんでした。



つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

小3/5まいめ えらぶ 向きが 入れかわる しあげの 1まい

なまえ _____

ひづけ _____

赤い字がこたえです。下の行は、えらんだわけ（つかわない文・前と後ろの向き）です。
同じ1文目でも、つなぎ言葉がかわると後に来る話がかわります。

ことばのはこ

だから

でも

そして

1 まどの外はまだとても明るいです。

ア まどのそばに新しい本だなをおきました。

イ 時計はもう七時をさしていました。

ウ まだ電気をつけないで本を読みました。

(1) だから、 **ウ** (2) でも、 **イ**

つかわない文：ア（そうなる話でも反対の話でもない）

（ことばのはこからえらぶ）

2 はるとさんは毎朝犬のさんぽに行きました。

(1) **だから**、犬はとても元気になりました。

(2) **でも**、雨の日だけは行けませんでした。

(3) **そして**、帰ってから花に水もやりました。

前と後ろの向き：（1）そうなる話 / （2）反対の話 / （3）つけ足しの話

3 みさきさんはノートをちゃんと持ってきたと思いました。

ア 安心して一時間目のじゅんびをしました。

イ かばんの中を見るとノートがありませんでした。

ウ 前の日の夜にノートをかばんに入れていました。

(1) でも、 **イ** (2) だから、 **ア**

つかわない文：ウ（1文目の理由）

（ことばのはこからえらぶ）

4 あきらは朝ごはんをしっかり食べました。

(1) **でも**、二時間目におなかが鳴りました。

(2) **そして**、水とうにお茶も入れてきました。

(3) **だから**、お昼までおなかがすきませんでした。

前と後ろの向き：（1）反対の話 / （2）つけ足しの話 / （3）そうなる話